

# 100歳おめでとうございます

神岡町西の阪上リツさんが100歳を迎えられました。

都竹市長からお祝いと花束を受け取りました。

阪上さんは何十年にもわたって毎日日記を書いており、その日記を見せてくれました。ノートには、その日の出来事や感じたことなどがびっしりと書かれていました。

都竹市長は「元気な姿を見て、こうしてお話をすると、こちらが元気をもらえる。ますます元気で長生きしてください」と声をかけました。



宮川町小谷の西野フシさんが100歳を迎えられました。

都竹市長からお祝いと花束を受け取りました。この日はお子さんやお孫さん、ひ孫さんなど多くの方が集まり、ケーキの口ウソクを消したり、クラッカーを鳴らすなどして、西野さんの100歳を祝いました。また、西野さんの歴史の紹介も行われました。

西野さんは「施設ではゲームなどをして楽しく過ごしています。食事も美味しく、ありがたいです」と話していました。



神岡町船津の下萩えま子さんが100歳を迎えられました。

市民福祉部の柚原部長からお祝いと花束を受け取りました。

下萩さんは「元気で長生きできたのもまわりの方のおかげです。大変なこともあったけど、今では良い思い出です。階段を上ったりして足腰を使ったことが健康につながっています」と話していました。

また、以前営んでいた精肉店や役員をしていた婦人会などの思い出を教えてくださいました。



## プロジェクト今年もスタート

5月9日（火） 飛騨市図書館

市薬草ビレッジ構想推進プロジェクトとして、「朝霧の森薬草園」活用検討会が行われ、地元企業やNPO法人「薬草で飛騨を元気にする会」、薬草愛好団体「山水女」、絵手紙同好会「友遊」、飛騨市の木育を広める会など約30人が参加しました。

検討会では、職員による同園整備についての説明や環境デザイナーの廣瀬俊介さんによる環境デザイン計画について報告が行われました。



報告を行う廣瀬俊介氏

## 感謝の気持ちを校舎に伝える

5月6日（土） 神岡町

山田生涯学習館（旧山田小学校）が老朽化により解体されるのを前に、謝恩イベントが行われました。イベントには同小卒業生ら約120人が参加し、校内清掃活動や校舎への感謝状贈呈、校歌斉唱などで、長年親しんだ校舎に感謝の思いを伝えました。

また、この日は昼食として、ミートスパゲティーやきんとんパイなど当時の給食の人気メニューが出され、懐かしい味を楽しみました。

昭和53年の建設以来、345人の卒業生を送り出した校舎は、今秋に解体工事が行われる予定です。



校舎に向かい、校歌を斉唱する卒業生ら

## 木の性質を活かした木育授業 木の魅力を伝える

5月19日（金） 河合小学校

河合小学校で木への知識や興味を持ってもらおうと木育授業（ふるさと教育）が行われました。柏木工（株）の白川勇さんを講師に招き、全校児童50人が参加しました。

授業では、木の枠とビー玉を使いビー玉ストラップを作成しました。白川さんの説明の後、生徒は木の枠を煮て柔らかくしてから、枠の中にビー玉を押し込みました。それを乾燥させてから、サンドペーパーで表面を滑らかにし、牛皮製のひもを通して完成させました。

児童は「枠の中にビー玉を入れるのが難しかったけど、楽しかった。木の種類によって音が違うのが面白い」と話していました。



白川さんの指導の下、ストラップ作りに取り組む児童

## 飛騨キッズフェスタ2017開催 子ども達が熱戦を繰り広げる

5月14日（日） 飛騨信用組合古川支店駐車場

飛騨地域初の子どもの主体のイベント「飛騨キッズフェスタ2017」が飛騨信用組合古川支店の駐車場で行われました。

会場では、ペダルが無く足で地面を蹴って進む自転車「ストライダー」のレースをはじめ、飲食コーナーやスケートボード体験のほか、ジャパンカップ優勝者の大西勘弥さんらによるBMXショーなどが行われ、訪れた来場者を楽しませました。

また、祖父母参加型シルバーカーファンウォークも行われ、幅広い世代の方がイベントを楽しみました。



スターターを務める市長の合図で走り出す子どもたち

## 日頃の感謝を込めて ふみ会が長椅子を寄贈

5月22日（月） 飛騨市民病院

神岡町の同級会「みふみ会」が還暦を記念して、飛騨市民病院に長椅子4脚を寄贈しました。長椅子はパステルグリーン色で同病院の外来待合室に設置されています。

同会の菊原尚浩会長は「地元の施設に何か役立つ物を寄附したいと思い、日頃の感謝の気持ちを込めて、長椅子を選択した。皆さんに使っていただければ嬉しい」と話していました。

同病院の黒木嘉人院長は「本当に貴重な物をいただきました。待合室の雰囲気も明るくなり、患者様の気持ちを和らげてくれると思う。心から感謝します」と話し、感謝状を手渡しました。



寄贈された長椅子とみふみ会の会員ら

## 考えを共有しプロジェクトの推進へ CKプロジェクトリーダー研修

5月17日（水） 吉城高校

吉城高校では地域課題解決型キャリア教育として「YCK（吉高地域キラメキ）プロジェクト」という活動を行っています。YCKプロジェクトでは、「地域観光」など4つの分野を柱に地域と連携した活動を進めています。

この日は、同プロジェクトで中心的な役割を担うプロジェクトリーダーを対象にした研修が行われ、メンタルコーチの関口祐太さんが講師を務めました。

研修では、リーダーに立候補したきっかけやプロジェクトをより良くするためのアイデアを出し合い、共有しました。



関口さんとともにアイデアを出し合う生徒



## 飛 快晴のなか地域と交流を深める 飛騨古城特別支援学校 運動会

5月27日（土） 飛騨古城特別支援学校

飛騨古城特別支援学校で運動会が行われ、児童・生徒をはじめ、保護者や地域住民など、約160人が参加しました。

児童・生徒は、リレーや採し物競争などの種目で日頃の練習の成果や一生懸命に頑張る姿を発表しました。また、玉入れなどの競技では、地域住民と一緒に競技を行い、楽しみながら交流を深めました。

参加した都竹市長は「子ども達の元気と笑顔があふれる良い運動会でした。地域の方とのつながりを強く感じました」と話していました。



玉入れを行う参加者

## 楽 飛騨地域で初めて開校 天と飛騨神が連携し地域の活性化へ

5月23日（火） 飛騨神岡高校

昨年11月に締結した市と楽天(株)の包括連携協定の1つとして、飛騨地域で初となる楽天IT学校の授業が飛騨神岡高校で行われました。

授業は同校総合学科のビジネス会計系列の生徒15人を対象に年間を通して8回計画されています。講師は楽天トラベルとハッスルが務めます。授業を通して、生徒はハッスルの宿泊プランを考案し、そのプランは楽天トラベルで実際に販売されます。

この日は、楽天のビジネスモデルやネットサイトの運営の基礎について、座学やグループワークで学びました。



授業の様子

## 小 それぞれの団体の取り組みを発表 さなまちづくり応援事業報告会が行われました

5月31日（水） 古川町公民館（総合会館）

まちづくり団体「ひだプラす」主催の小さなまちづくり応援事業報告会&まちづくりを考えるセミナーが開かれ、市民ら約100人が参加しました。

報告会では、平成28年度にまちづくり応援事業を活用した4団体が昨年度行った自分たちの活動についてスライドで紹介しました。

まちづくりセミナーでは、都竹市長が「鶏ちゃん合衆国から考えるまちづくり」と題して、県庁職員時代に自ら立ち上げた鶏ちゃんを活用したさまざまな取り組みについて熱く語りました。



発表の様子

## ま ポイントカード交付セレモニー めでとくするポイント制度がスタート

5月19日（金） ハートピア古川

今年度から皆さんの健康作りを応援する制度「まめとく健康ポイント事業」が始まりました。

「まめとく」は「まめで得する」の略で、この事業は、健康診断の受診やウォーキング、健康に関するイベント参加などをカードに記載し、一定ポイント数に達すると商品券などと交換できる制度です。

この日はセレモニーとして、市長が窓口で申請書を記入し、申し込みを行いました。都竹市長は「この制度を活用していただき、皆さんの健康作りを応援したい。ぜひ多くの方に利用していただきたい」と話していました。



セレモニーを行う市長と職員